

4 耐震面

奥津中学校、富中学校が該当し、早急な対策が必要である。

耐震補強は工事及び学習環境面で問題があると考えられ、改築以外にないと考えられるが、現在の財政状況の鏡野町の施策としては困難と考えられる。

以上の視点から、今日の少子化による生徒数の減少著しい状況の中で、貴職からの「現在4校ある中学校の内、奥津中学校、上齋原中学校、富中学校を平成22年度にそれぞれ鏡野中学校に統合する」という諮問は、総合的に判断して、止むを得ないものとする。

しかし、諸般の事情を勘案し、通学面で時間的に比較的通学可能な奥津中学校は耐震面も考慮して、平成22年度を目途に万全な準備態勢を整えて、鏡野中学校に統合するのが望ましい。

上齋原中学校及び富中学校は、当面存続するが、教育面を考えると可及的に近い将来、鏡野中学校に統合することが望ましい。

なお、統合に当たっては、次の諸点に留意されたい。

- 1) 耐震面、通学面で難のある富中学校は、富小学校内に必要最小限の教室を設置し、共用可能な施設は共同利用し、小中一貫教育を研究実践する。
- 2) 上齋原中学校は幼小中一貫教育の更なる研究推進を図る。
- 3) 部活動については、早朝・休日の活動がスクールバス通学生に不利にならぬよう十分配慮する。
- 4) 統合地域の文化の継承・発展を図り、生徒たちが地域の子として成長できるよう、社会教育の充実に配慮する。
- 5) 保護者、地域住民に対する説明は、きめ細かく実施し、十分理解が得られるよう重々に配慮する。
- 6) 統合に当たっては、統合校の教育とその運営等が遺漏なく出発・実施できるよう図るため、統合準備委員会（仮称）を設置してこれに当たる。

～平成21年 春の交通安全県民運動～

昨年の県下の交通事故死者数は114人（前年比－1人、－0.9%）、負傷者数は22,412人（前年比－2,167人、－8.8%）で死者数については5年連続、負傷者数については3年連続減少しております。

しかし、岡山県内の死者数を人口10万人あたりの死者数でみると、全国平均「4.0人」のところ、岡山県は「5.8人」と高く、また、運転免許人口の増加、高齢社会の到来及びライフスタイルの変化等、交通を取り巻く環境は依然として厳しく、今後も予断を許さない状況にあります。

こうした現状を踏まえ、県民一人ひとりが平素の交通行動を振り返り、交通ルールに従った思いやりのある行動をとることが極めて重要です。

4月6日(月)から4月15日(水)までの10日間、「平成21年春の交通安全県民運動」が県下一斉に展開されます。また、4月10日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。ドライバーの方はもちろん、県民すべての方々が、交通事故を起こさない、また交通事故に遭わないよう安全な行動を心がけましょう。

スローガン

**「守ろうやあ
あなたもわたしも
交通ルール」**

【今回の運動の重点目標】

【最重点目標】

○子どもと高齢者の交通事故防止

【重点目標】

○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

○自転車の安全利用の推進

○飲酒運転の根絶

○交差点における正しい通行の徹底